

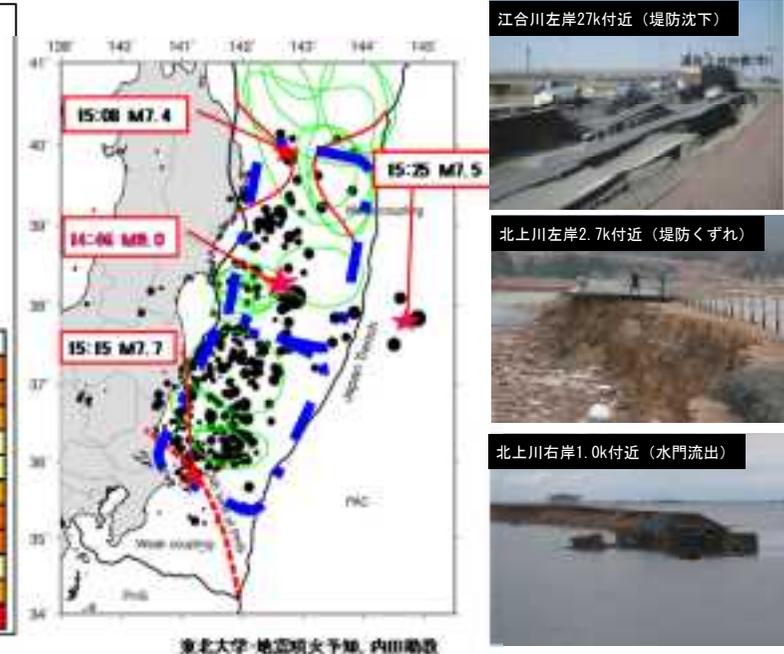
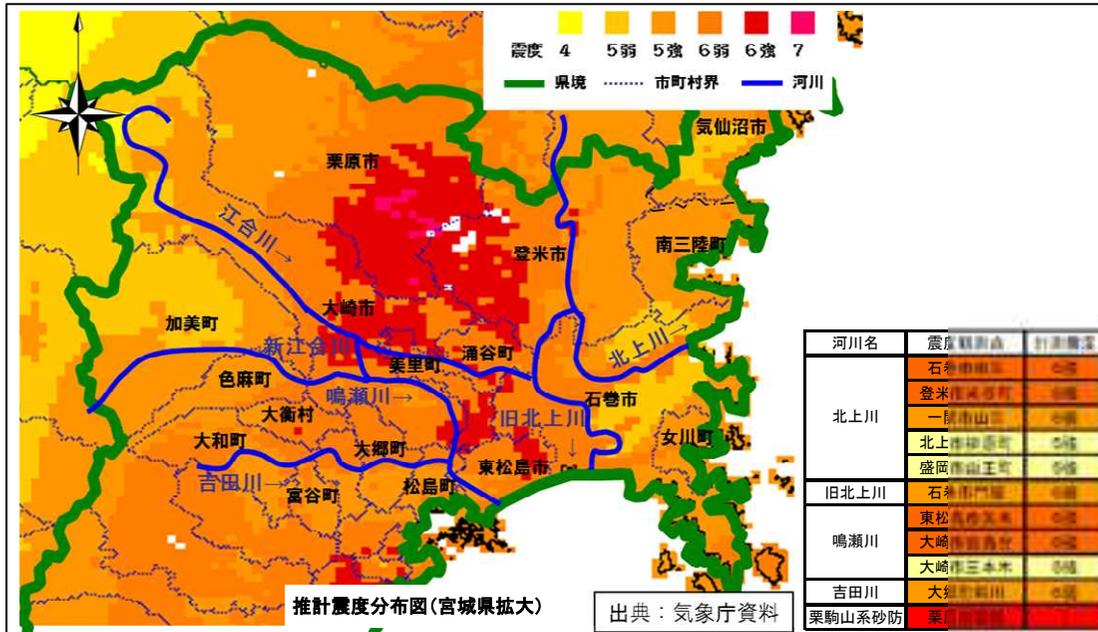
# 旧北上川河口部復旧復興事業の 完成について

令和4年11月14日

国土交通省 東北地方整備局

# 東北地方太平洋沖地震の概要

- 平成23年3月11日14時46分頃、三陸沖（牡鹿半島東南東 約130km付近）を震源とするマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生しました。
- 宮城県栗原市で最大震度7を記録したほか、宮城県、福島県、栃木県、茨城県の4県34市町村で震度6強を観測しました。
- また、北海道から関東の広域にわたり、巨大な津波が発生し、地震・津波による東北地方の国が管理する一級河川の被害箇所数は1,195箇所におよびました。特に北上川水系においては646箇所において被害が発生し、全体の54%を占めています。



## 河口部における津波の被災状況

**被災前 (河口部)**

H19. 12. 8撮影

**被災後 (河口部)**

H23. 3. 25撮影

**石巻市立病院の被災**

2階まで被災

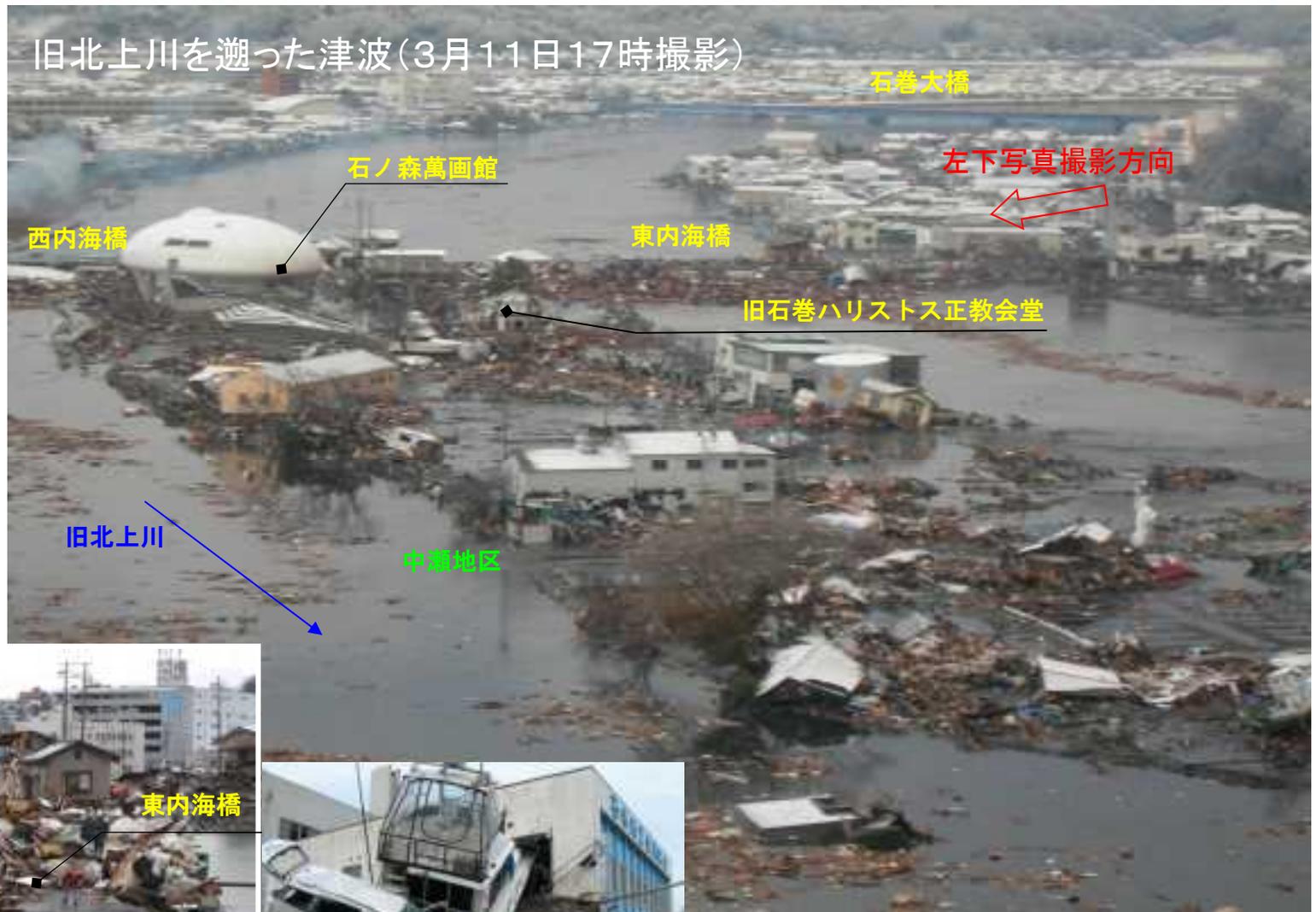
**街中まで船が漂流**

**門脇小学校全焼**

**津波痕跡【萬画館】**

津波痕跡「推定」≧1.5+5.6m

# 中瀬周辺の被災状況



## 内海橋の被災状況

石ノ森萬画館



写真提供: 石巻市

# 東北地方太平洋沖地震の概要(石巻市における浸水被害)

- 石巻市における浸水面積は約73km<sup>2</sup> (H23.4.1国土地理院発表) におよび、市内の約13.2%が浸水しました。
- 石巻市内の死者は3,553人(関連死含む)、行方不明者417人を記録し、甚大な被害が生じました。(令和4年2月時点 出典:石巻市)

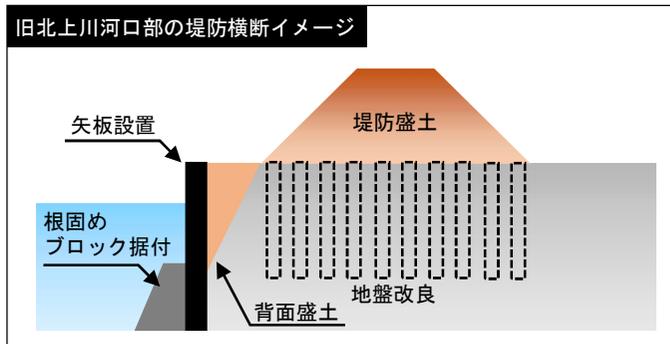
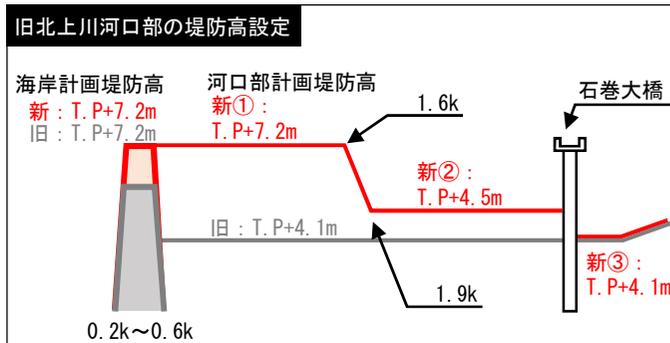


- 死者: 3,553人(関連死含む)
- 行方不明者: 417人
- 建物被害: 全壊 20,044棟
- 建物被害: 半壊 13,049棟
- 津波高さ: 最大T.P. +8.6m

<出典:石巻市 令和4年2月末現在>

# 旧北上川河口部における復旧・復興事業

- 旧北上川河口部における復旧・復興事業として、全体延長約15.0kmの堤防整備、約34万m<sup>2</sup>の用地取得を実施してきました。
- 発災後より復旧・復興の設計を進め、平成24年度に工事着工、令和3年度末に工事を完了しました。



## 【復旧・復興事業の進捗】

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
堤防・構造物の設計		築堤設計、構造物及び堤防沈下箇所の設計									
設計の説明		事業説明・設計の説明									
用地調査・算定		設計承認の地区より調査開始									
補償契約		設計承認の地区より調査開始									
工事		用地契約完了後より工事着手									
		河川内の工事を先行着手								工事完了	



## 堤防計画への合意形成

- 堤防計画にあたっての合意形成については、浸水リスクなどとともに、堤防の必要性を説明し、大規模なアンケート調査も実施しました。
- また、地元説明では、避難されている方々や、仮設住宅にお住まいの方も含め実施させていただき、平成24年1月から11月の間でのべ約140回、約1800名以上の方に参加いただきました。

### 堤防の考え方、堤防計画の説明

(平成23年11月～12月)

- 津波・高潮・洪水等を考慮して計画する (石巻市で約1,900名)
- 浸水対策についてのアンケート調査 (回収総数約1,100枚)
- 堤防計画のための測量着手の報告 (旧北上川沿川で約1,750名)

### 堤防計画(案)の説明、のべ約140回、1800名以上

(平成24年1月～11月)

堤防の設計について各町内会(各地区)単位で説明して了解をいただく

- 地区別の高さと敷幅
- 堤防の位置、横断形状
- 側道を含めた堤防計画



堤防計画への合意



# 石巻市との連携した“かわまちづくり”

- 石巻市は、堤防と一体的にプロムナード（散策道）を整備し水辺利用を促進する“水辺の緑のプロムナード計画”を立案しました。
- 国は、堤防整備と合わせ景観や環境に配慮しながら“石巻地区かわまちづくり”を推進しました。
- 地域の意見を聴きながら、これらの事業を連携させて水辺整備を推進していきます。

### いしのまき水辺の緑のプロムナード計画

いしのまき水辺の緑のプロムナード計画 全体図 (H25年3月)



**ルートイメージ**

- 安全に配慮し、歩石による自然な水際や転落防止柵を設置。転落防止柵の埋設を確実に行う。
- 国史位置や地域の歴史、文化を学ぶサイン等
- 夜間でも通行可能なように一部に照明を設置
- 歩きやすい舗装等
- まちと川の結びつきを強めるとともに、避難にも配慮した舗装
- 部分的に透水性土を行い、排水できるベンチや柵等を設置

●水辺の利活用の推進（水辺を活かした市街地復興）  
**[市事業]** ベンチ、植栽整備、案内サイン、照明設備 等

石巻市

国交省

### 堤防整備・石巻地区かわまちづくり




連携整備

石巻市と国が連携して水辺整備を推進

中央地区デザイン検討案

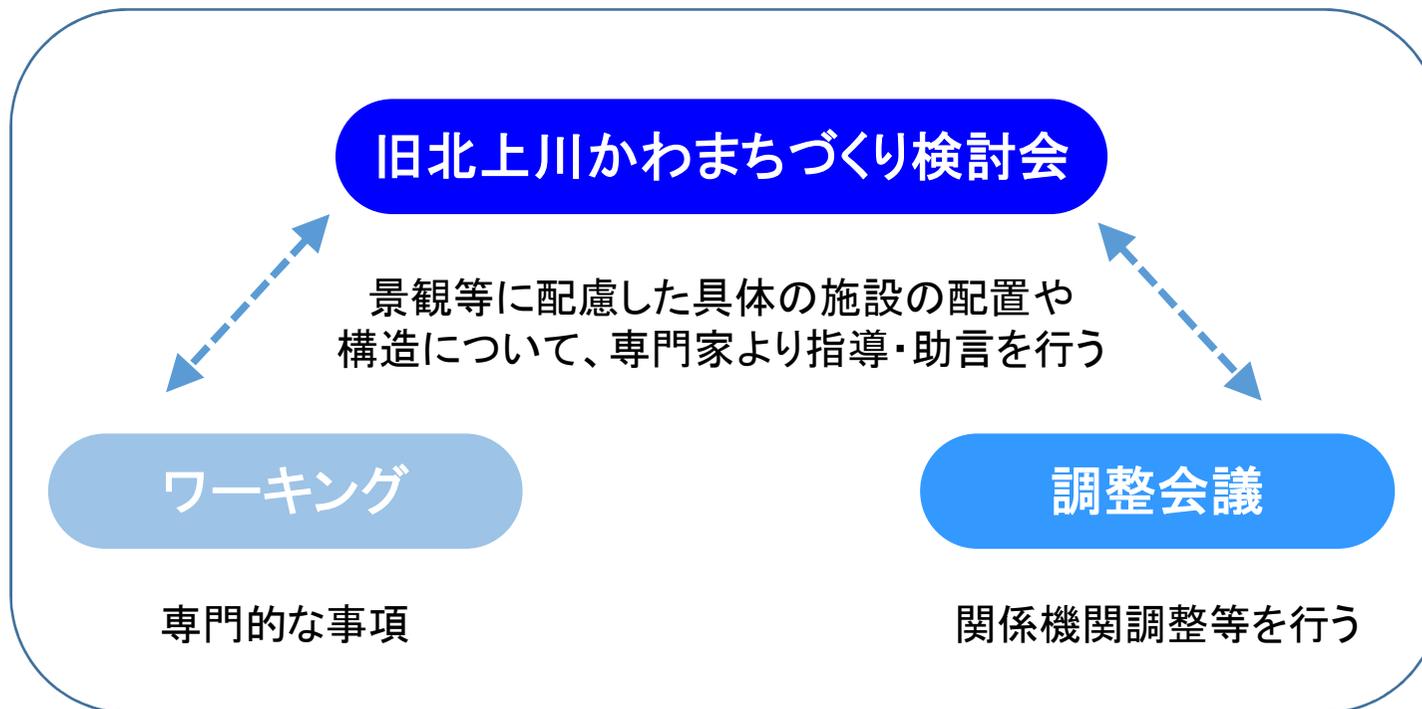
大島神社前のデザイン検討案



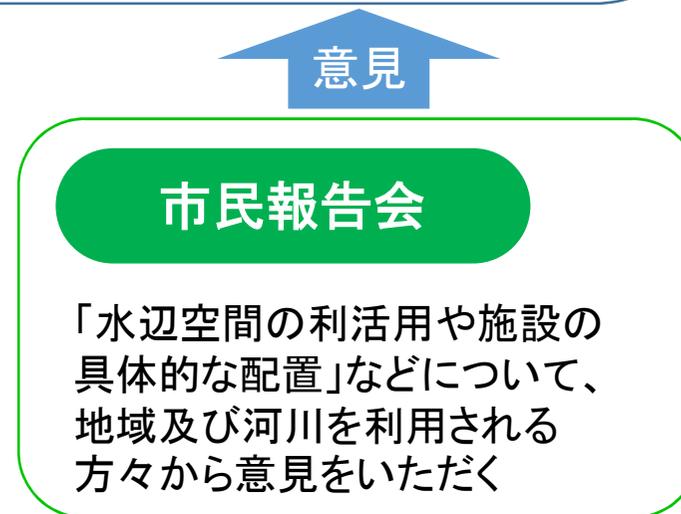
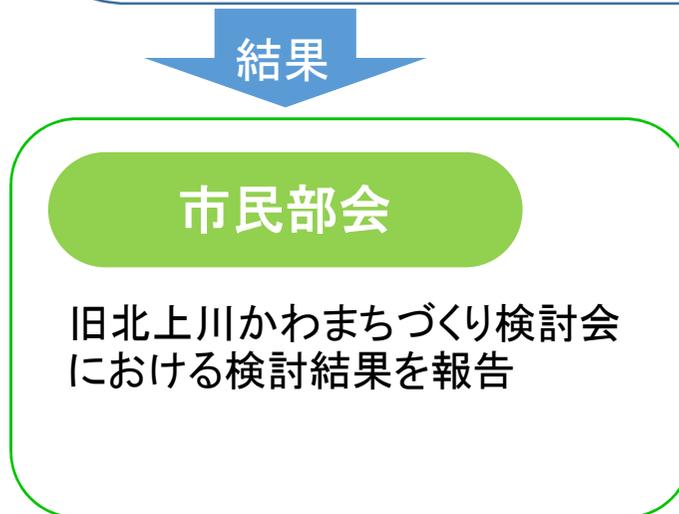
- 堤防・護岸等のデザイン、拠点地区の整備の方向性等を地域の意見を聴きながら検討
- 地域の意見を取り入れた計画検討

**[国事業]** 築堤、護岸、石積み護岸、自然護岸、階段工、捨石（護岸修築）、転落防止策 等

かわまちづくり



市民の方々



メンバー:学識者+行政委員+事務局

目的:かわまちづくりにおける具体の集計方法や構造に関わる詳細な部分の指導・助言をいただいた。



## 石巻かわまちづくりデザインノート

- 地域の皆さんや学識者、関係機関などと一緒に悩みつくった、かわまちづくりとなりました。
- デザインのこだわりを、デザインノートとしてとりまめ、今後の維持管理にも利活用していきます。

### 石巻かわまちづくりデザインノート





# 旧北上川河口部復旧・復興事業完成式の開催

- 東北地方太平洋沖地震から10年余りの復旧復興の完成を祝うと共に、川湊(かわみなと)石巻の新たな賑わい拠点の誕生を広く知っていただくため、令和4年4月23日(土)に完成式を開催しました。
- 沿川の復興まちづくりの基幹となる河川堤防等の整備が完成したことにより、津波発生時の浸水被害の軽減など、安全で安心な『まちづくり』が大きく前進しました。
- また、被災地の新たな商工観光・産業・工業用地の基盤整備など地域の賑わいの創出、産業の再生に寄与されます。



▲セレモニー（くす玉開披）の様子



▲「地域の声」発表の様子  
(株)街づくりまんぼう  
苅谷 智大 氏



▲「地域の声」発表の様子  
大橋地区  
鈴木 皓達 氏



【被災後（平成23年3月）】



【復旧復興状況（令和4年3月）】



▲かわまちテラスの賑わいとブルーインパルスによる展示飛行

# 旧北上川河口部のかわまちづくりのこれから

トリコローレ音楽祭



石巻川開き祭り



石巻復興マラソンウォーキングの部



かわべでシアター



かわまち交流センターの夕景

